

2016年2月21日

# とよおか地域づくり大会 2016

## 講 評

作 野 広 和  
(島根大学教育学部)

2016

# とよおか 地域づくり 大会

2/21  
(日)

13:00~16:30  
(12:30~受付開始)

豊岡市では、未来に向けたまちづくりとして、地区公民館の区域での「新しいコミュニティづくり」を推進しています。この大会は、「新しい地域コミュニティモデル地区」の取組み発表や、地域づくりに必要なスキルや手法の紹介など、新しい地域コミュニティについて、皆さんと一緒に考え、理解を深める機会とします。皆さんのご参加をお待ちしています。

## ■会場 じばさんTAJIMA

2階多目的ホール  
〒668-0041 豊岡市大観町1-79(裏面地図参照)

- 定員 250名(参加料無料)  
※定員になり次第締め切らせていただきます。
- 申込 電話・Eメール・FAX  
お名前、お住まいの地区をご連絡ください。  
FAXは裏面申込欄をご使用ください。
- 締切 平成28年2月12日(金)

## ■プログラム

1. 講演(13:10~14:00)  
「外部の人材を地域コミュニティに活かすために」  
講師：特定非営利活動法人学生人材バンク  
代表理事 田中玄洋氏
2. モデル地区取組み発表(14:30~16:15)  
①城崎地区  
②日高地区  
③竹野南地区  
④弘道地区

【ファシリテーター】  
田中玄洋氏  
【講評・コメント】  
島根大学教育学部教授  
作野広和氏

参加者みんなで考えるミニワークショップ等も行います。

# 謝辞

---

○本日は、すばらしい会にお招き頂き、  
ありがとうございました。

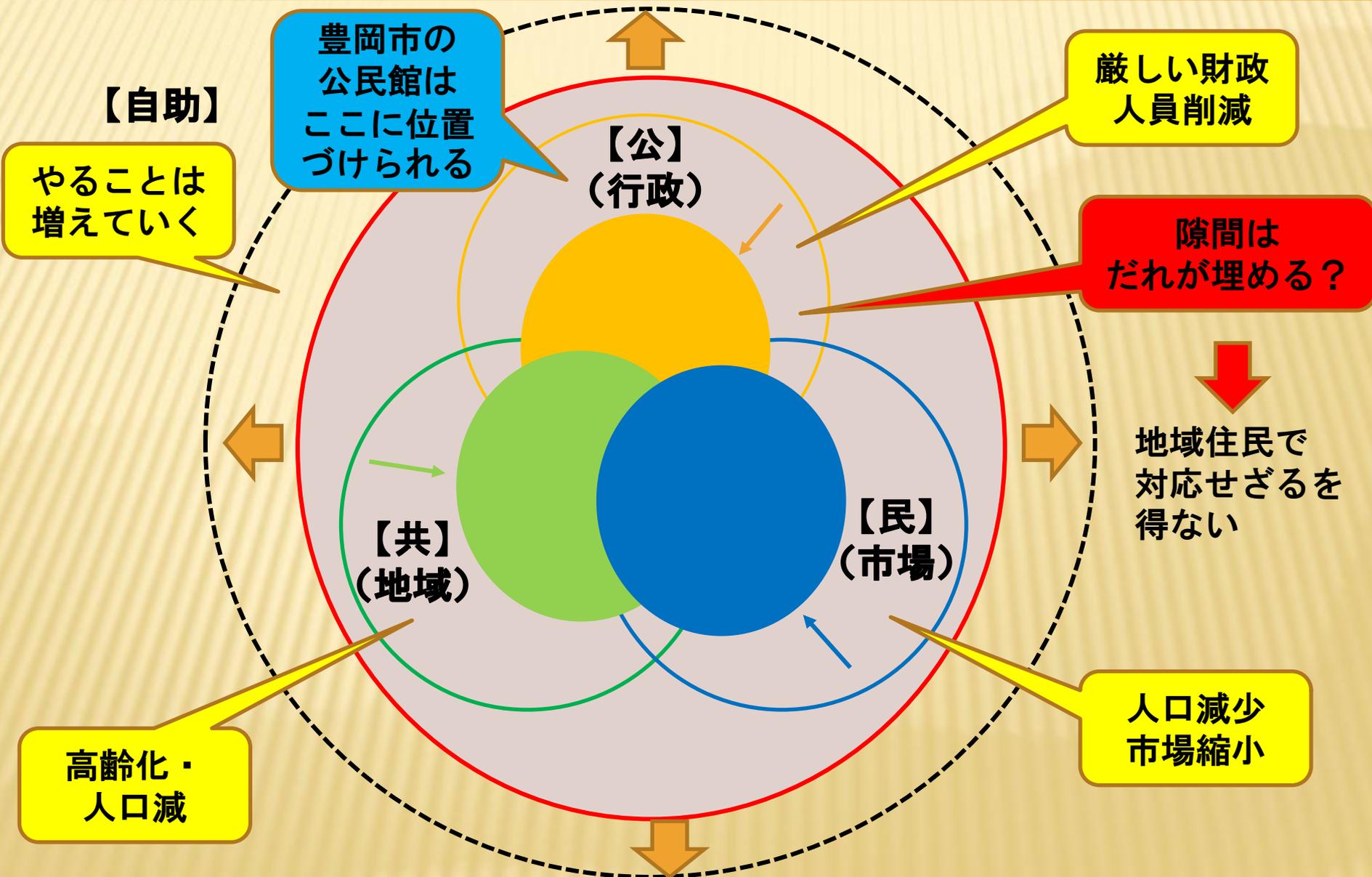
○「新しいこと」を作り出すことは、  
たいへんなことです。

○皆様の勇気あるお取り組に対し、  
心から敬意を表します。

# 講評 16：15～16：25

1. 今、なぜ「地域コミュニティ」か
2. 盛り上がったワーク，地区特産物PR，地区発表  
↓  
「地域の暮らし」の中にこそ幸せがある
3. 国全体の流れ：「集落ネットワーク圏」  
+  
「小さな拠点」
4. さらなる向上のために

# 1. 今、なぜ「地域コミュニティ」か



**【自助】**

やることは  
増えていく

豊岡市の  
公民館は  
ここに位置  
づけられる

**【公】  
(行政)**

厳しい財政  
人員削減

隙間は  
だれが埋める？

地域住民で  
対応せざるを  
得ない

**【共】  
(地域)**

**【民】  
(市場)**

人口減少  
市場縮小

高齢化・  
人口減

# 多様な主体が関わる必要

## <自治会・町内会>

- ・ 階層型組織
- ・ 上意下達
- ・ 強い結合
- ・ 機動性に欠く対応
- ・ 域外参入困難

## <新しい地域コミュニティ>

- ・ ネットワーク型組織
- ・ 合意形成
- ・ 緩やかな結合
- ・ 柔軟に対応
- ・ 域外参入可能

地域住民

多様な主体の参画

豊岡市

地域（旧市町）

地区（校区）

区

住民

NPO

行政

地域  
コミュニティ

大学・  
専門家

地域外  
住民

# 参考になった「日高地区」の経験

○ワークショップ後

**「日高地区では何も困っていない」**

(参考) そのような発言が出る  
日高地区はすばらしい!

○困るからコミュニティを作るのではない



**より幸せに生きていくための**

**仕組みづくり**

**拠点づくり**

**人づくり**

ちなみに、わかってもらう必要はない。

結果として**幸せ**になってもらうことが大切。

**「安心して下さい！」**

---

**豊岡市における  
「新しい地域コミュニティ」づくりは  
どこへ出しても恥ずかしくありません**

# 参考になった「日高地区」の経験

## ○当初

「はじめから興味がある人はだれもおらへん」



(推測) おそらくは、興味がある人はいるはず  
興味がある人は、地域の意思決定に  
参画できない構造にあったと思われる

## ○パネルディスカッション

「女性の声を拾うことができた」

# 2. 盛り上がったワーク，特産物販売，地区発表



講演  
「外部の人材を  
地域コミュニティに活かすために」  
講師 特定非営利活動法人 学生人材バンク  
代表理事 田中 玄洋氏



笑顔！

やればできる豊岡市



部の人材を  
地域コミュニティに活かすために」  
講師 特定非営利活動法人 学生人材バンク  
代表理事 田中 玄洋氏

## 2. 「優良事例」と呼ばれるものに飛びつかない お手本「身近な地区」にある

90%以上の一般的な地域  
自分たちの「暮らし」にこそ価値がある

集落ベースで5%未満の  
消滅可能性集落の存在から  
「この先は何をやっても  
無駄だ」とあきらめる

全国トップクラスの地域へ  
視察に行き、「自分たちの  
地域ではとてもできない」  
と嘆く

多様な主体の参画

女性・子どもの参画が必要（男性の相対化）

# 兵庫県篠山市集落丸山



里山を背後に、ひっそりとたたずむ「集落丸山」。  
この景色すべてが、おもてなしになる。

篠山城址のある市中心部から車で10分足らずの山間に「集落丸山」がある。一棟貸しの古民家で、まるでこの集落に住まうかのような体験が味わえる宿泊施設だ。

ランチやディナーはフレンチのカリスマシェフが腕を振るう珠玉の味わいや、ミシオンガイドで星1つを獲得した名店で蕎麦と旬料理が堪能でき、朝食は地元のおばあちゃんが宿まで来て、地元野菜をふんだんに使った家庭料理を作ってくれる。客は篠山の里山を散策し、城下町を歩き、自然の息吹と歴史にとつぐりと浸ってまた宿に戻ってくる。ある幼い子どもを連れた家族連れは、現代ではなかなか経験できない古きよき住まいと暮らしを味わった。また、全国の古民家を泊まり歩いているという夫婦は、じっくりと3連泊もして帰途に着いた。ここには、スローライフという言葉では表わし切れない、時間を越えた日本の

原風景に包み込まれる喜びがあるのだ。

運営は地域住民で構成する「NPO 法人集落丸山」と、地域コミュニティへの中間支援を行う「一般社団法人ノオト」接客から管理まで、実際は宿を切り盛りするのは住民だ。常勤は女将の佐古田純子さんだけで、あとは地元の人たちが空き時間を融通し合って来てくれる。それが宿の大きな魅力、自然体のもてなしにつながっているようだ。「NPO 法人集落丸山」代表理事の佐古田直貴さんは言う。「みんなのやりがいがお客様へのおもてなしに表れ、喜ばれることで私たちもさらに元気になるんです」。

「集落丸山」では、伝統的な暮らしや文化をテーマとしたワークショップが季節ごとに開催され、宿泊客や地元の人たち、一般の観光客が参加。ここには、古民家を中心に、農村の暮らしを肌で感じられる「人、もの、こと」がすべて揃っているのだ。

## Point of View

NPO 法人集落丸山 代表理事 佐古田直貴さん

過疎が進み、空き家が増え、私たちも力が失せてしまっていたとき、このお話を聞かれました。最初は半信半疑でしたが、われわれが古来持っているものを活かすという考えを自然に受け入れることができました。今では以前から考えられない気概が湧き出てくるようです。



REPORT

04



篠山市

## 古民家再生で 甦る集落、隠れた名所に

過疎化が進み、消滅寸前だった丸山集落。美しい里山風景の中に、築後150年以上の重厚な農村民家が空き家となっていた。この貴重な集落を地域資源として再生、活用しようという取り組みが2007年にスタート。2年後に蕎麦やフレンチの名店と連携したオーベルジュスタイルの宿「集落丸山」として甦った。



### INFO

NPO 法人集落丸山

篠山市丸山 30  
079-552-5770

空き家となっていた古民家をオーベルジュに再生し、消滅に瀕していた丸山集落を周辺の里山とともに日本の伝統的な暮らしが体験できる観光施設として復興、活性化に成功。



女将の佐古田純子さん。この集落に生まれ育っただけに、地元への愛情も格別だ。



玄関から通り土間が続く伝統的な農村スタイル。台所奥には懐かしいおくさん(かまど)もある。



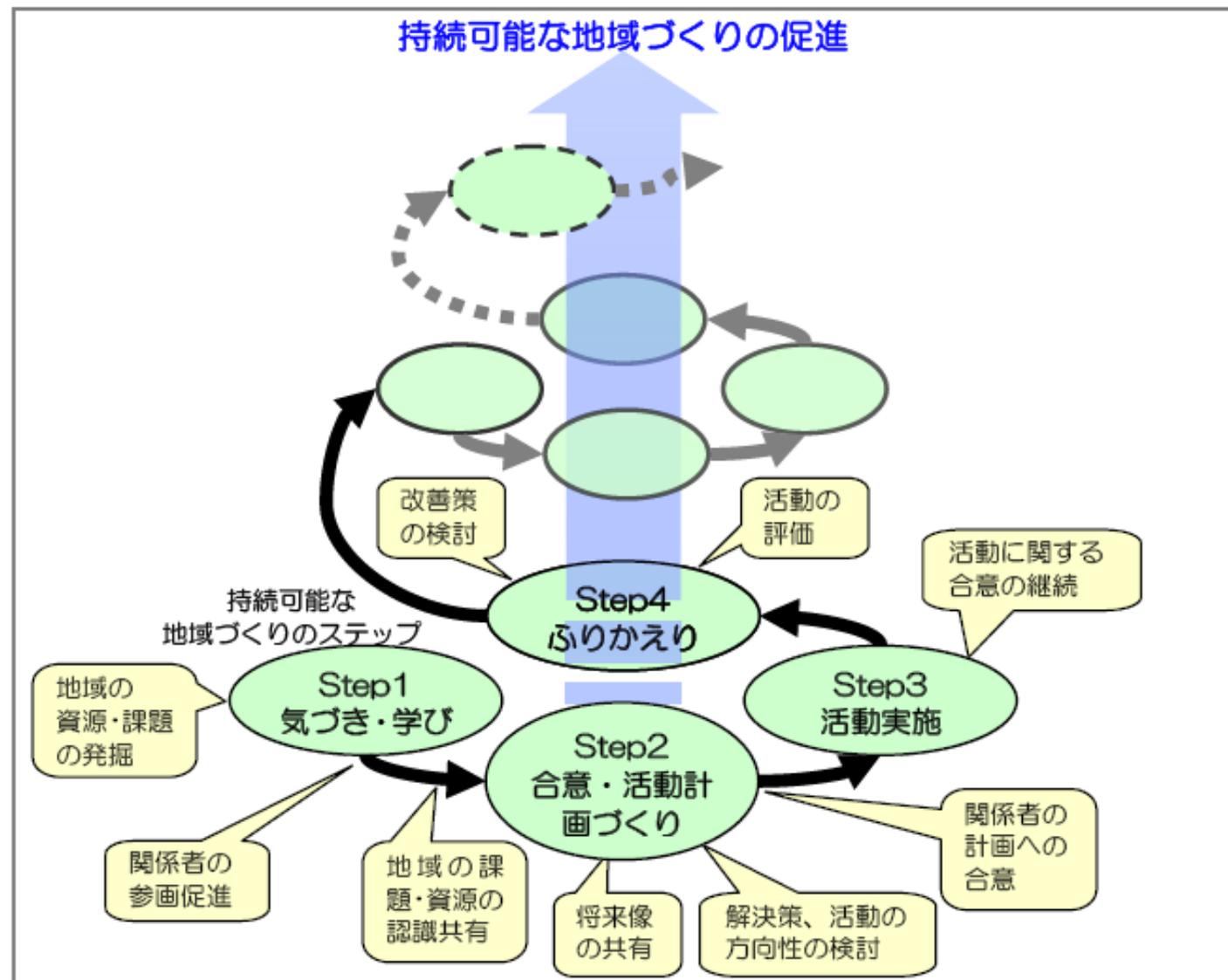
バスルームは近代的なホテル形式を採用。大窓で里山の眺めを満喫。

### 3. 集落ネットワーク圏＝地域コミュニティ組織

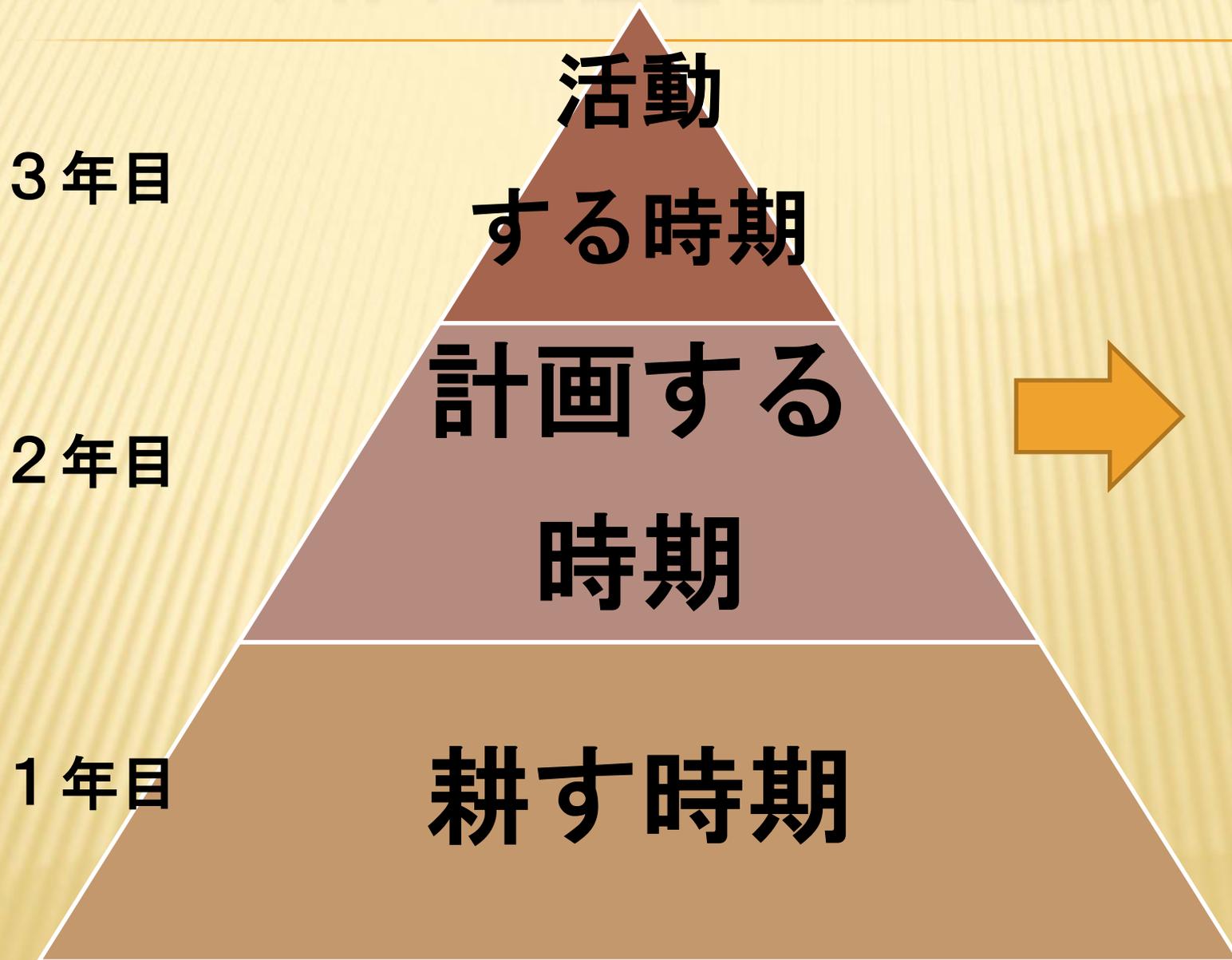




# 4. さらなる向上のために (1) 3年後のジレンマ

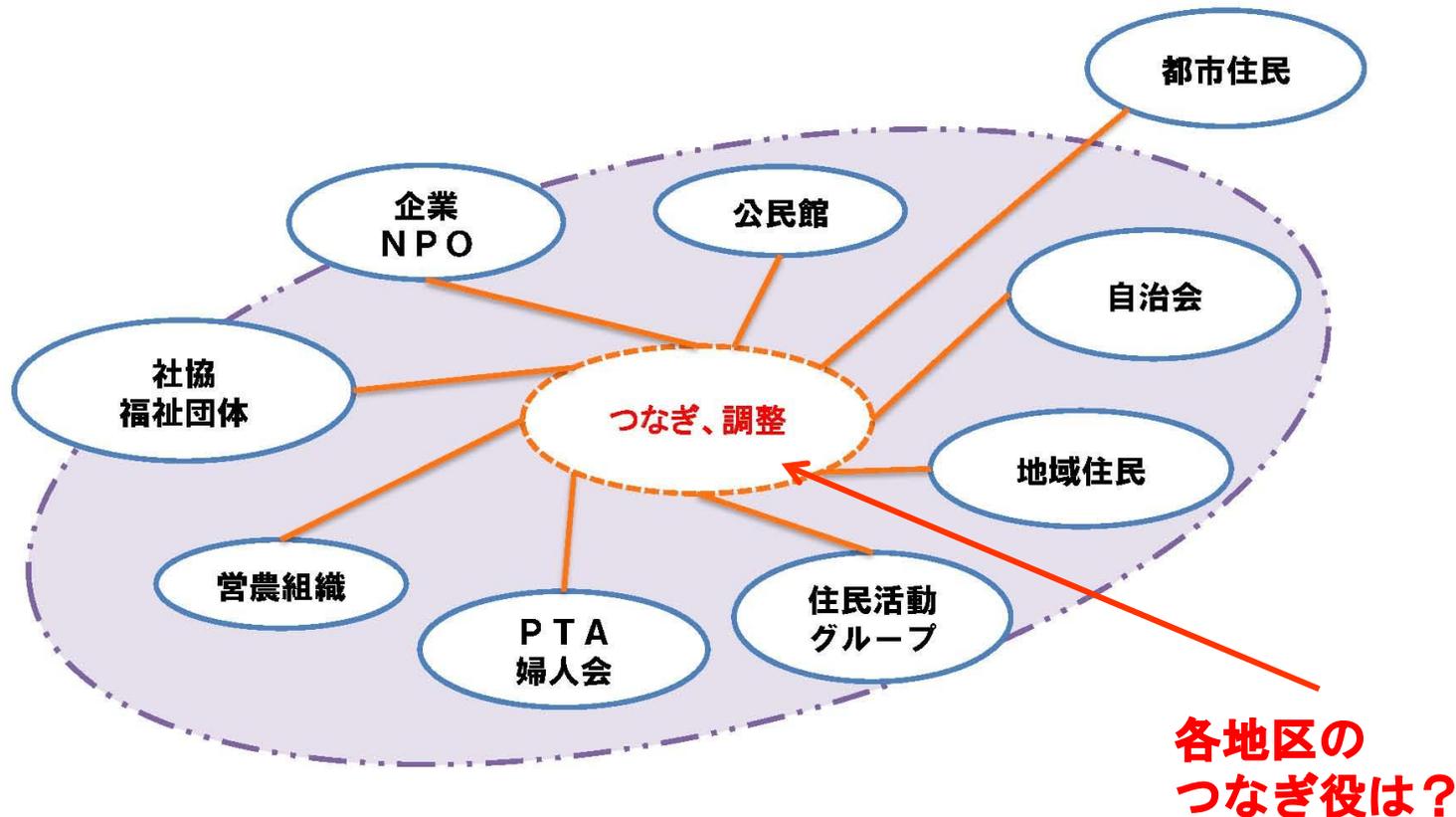


## (2) 順序を間違えない



# (3) 「つなぎ役」がかぎを握る

## 2. 多様な主体が参画した連携・協働の仕組み

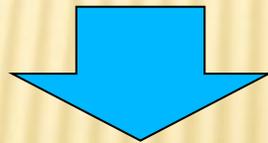


✿ それぞれの主体の活動、持ち味を活かしながら、「つなげる」ことで地域全体で効果を上げる！

# 地域づくりのコツ(1) 無理をしない

地域住民にとっては「何もしない」  
ことが表向きの幸せかもしれない

- ・このことは最も危ない考え方
- ・「攻め」のみならず,「守り」も崩壊していく
- ・「住めない」地域になっていく可能性がある



「合意形成」に時間をかけることは  
無駄ではない

# 地域づくりのコツ(2) できることから実行する

## 行動が結果を導く

「案ずるより産むがやすし」 まずは行動せよ

「できない理由づくり」は  
いくらでもできる

**合意形成は重要！**

# 地域づくりのコツ(3)コツコツと「継続」する

## 「説得」より「納得」

- ・地域住民の「ハート」を動かすことが大切

## ムードや機運を高める

- ・地域への「期待感」が行動を承認する

## 正しいことが妥当だとは限らない

- ・男性だけの地域づくりには限界がある

# 「継続」していれば必ず味方が現れる

## 無風層を見方につける

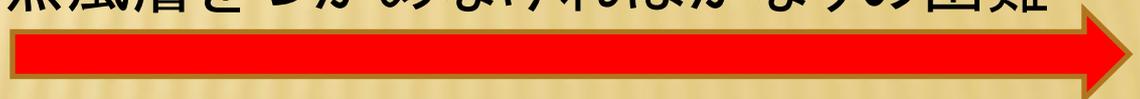
- ・組織には2割の積極層と2割の消極層が必ずいる
- ・しかし、問題は残りの6割の無風層



無風層を見方につければ一気に前向き志向



無風層をつかめなければかなりの困難



# 市長挨拶要旨

○18歳人口が減少



○大学等を卒業しても戻ってこない

○「都会が豊かだ」「田舎は貧しい」

と子どもも、大人たちも思い込んでいる

○Iターンしてくる人たちは、

豊岡の「**豊かさ**」を求めてくる

# グローバル & コミュニティ

○ふるさと教育

○英語学習

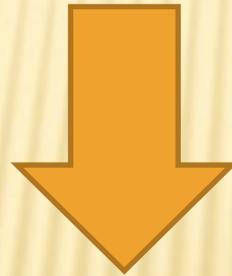
○演劇活動



誇りの醸成



世界に発信



(市長)

「豊岡**で**いいのだ」 → 「豊岡**が**いいのだ」

(作野)

# コミュニティづくり3箇条

コミュニティづくりに「失敗」  
はない

コミュニティづくりに「答え」  
はない

コミュニティづくりに「不可能」  
はない

# とよおか地域づくり大会 2016

## 講評

ご静聴ありがとうございました

〒690-8504 松江市西川津町1060

島根大学教育学部共生社会教育講座地理学研究室

作野 広 和 (さくのひろかず)

TEL & FAX : 0852-32-6107

E-mail : [hsakuno@edu.shimane-u.ac.jp](mailto:hsakuno@edu.shimane-u.ac.jp)